

☘☘☘ 福祉サービスをご利用の皆様へ ☘☘☘

宮城県社会福祉協議会・宮城県船形の郷は、福祉サービスを利用している本人や、家族、代理人、職員など関係者からの相談を受付けております。

各部署には「なんでも相談室」を設け、責任者や受付担当者を配置し対応に当たっております。何か困りごとがございましたらお気軽にご相談ください。

第三者委員 人権擁護委員 大和町吉田 原 弘弥様 (342-2009)
大衡村大瓜 千葉 良紀様 (345-4147)

責任者	受付担当者
所長 青木 強	主幹 小畑 香織

発行元：宮城県社会福祉協議会 宮城県船形の郷まつくらセンター
TEL 022-345-6340 FAX 022-345-5140

新規利用者様 募集しております！

★勤務時間 9:00～16:00 ★定休日 土曜・日曜・祝日

★TEL 022-345-6340



✿ 仕事内容 ✿

・ランドリー班



洗濯済みの衣類やタオルを仕分けし、船形の郷内の各園に届けます。

・農耕班



野菜を育て、収穫し、販売及びスーパー等に納品します。

・清掃班



船形の郷の施設内の清掃業務を行います。

宮城県社会福祉協議会 宮城県船形の郷
就労継続支援B型 まつくらセンター
広報 まつくら 3号



令和四年度もあつという間に終わろうとしています。今年度は四月から新たな作業メニューとして居住棟清掃が始まりました。六月には三年ぶりに社会体験活動を実施することが出来ました。町内のグループホームで生活されている利用者様にとって、渴望されていた外出行事を実施できたことは、大変感慨深いものがありました。三本木町のすたみな太郎でビュッフェスタイルの食事を体験してきましたが、コロナ禍で長く行事を控えていたこともあり、心から外食を楽しまれていました。

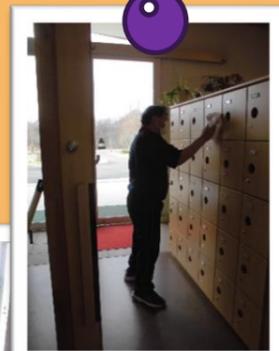
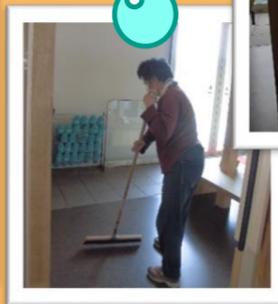
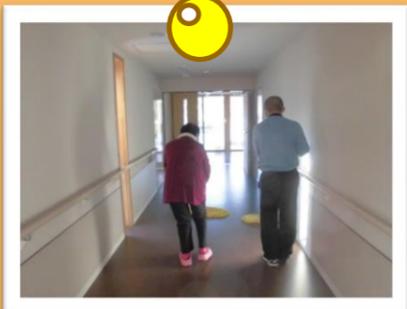
清掃作業が軌道に乗り始めた十月には、新作業棟さくら館への引越があり、居住棟清掃自体の場所も新とがくら園に移りました。新たな環境での活動ということで利用者様が対応できるか心配されましたが、杞憂に終わりました。六か月間の経験を基に普段と変わりなく清掃業務に取り組まれる姿に頼もしさを感じました。

一年を通して作業メニューの変更や事務所の移動等、例年に比べ変化の大きい令和四年度でしたが、利用者様の成長を感じ、大いに助けられた年だったと思います。次年度においても利用者様が地域で安心して暮らし続けられるよう、職員一同努力していきたいと思っております。

一年を振り返って
まつくらセンター 所長
青木 強

まつくら活動報告

清掃班



令和4年度の清掃班は、9月より新とがくら園にて清掃作業を開始いたしました！

今まで行ってきた旧とがくら園とは施設内の構造がまったく違うので職員・利用者様ともに苦労した事が多くありましたが、現在は清掃の行程にも慣れ、安定した作業を行えています。

来年度も更なる清掃技術向上に向け努力していきます！

ランドリー班



届いた衣類のたたみ作業



衣類の仕分け作業



台車に乗せて各園に配送します

不用なダンボールを回収中



ランドリー班は月・水・金曜に、船形の郷各園から出た洗濯物をたたみ、届ける作業を少人数ながらも協力して行っています。

その他の曜日には施設内のダンボール回収等を行いました！

来年度も各園の皆様綺麗な衣類等をお届けできるよう頑張ります！

農耕班

冬季期間中の農耕班は、野菜作りはお休みし、春の野菜作りに向けた準備作業等に力を入れました！
自然発酵させた手作り肥料製作や畳の解体作業、鉄物の分解作業等、幅広く取り組みました！

手作り！
環境にも優しい
有機ぼかし肥料



米ぬか・もみ殻・甘酒・
廃油・納豆等を混ぜ
合わせ発酵させた、
畑に撒く肥料を作っ
ています

鉄物の分解・分別作業



もう使えなくなったベッド
や車イス等を解体し、鉄
とそれ以外の物に分別
します

廃油は船形の郷の
食事サービス課様から
ご提供頂いたものを
使用しています



畳の解体作業

藁になった畳は堆肥の
原料として再利用して
います

令和4年度 まつくら慰労会



ピニャータ



わなげ



昼食会



表彰会

3月16日に日々の苦勞を誇り、まつくらセンターで慰勞会を開催しました★
利用者様・職員とにもとても楽しめる会になりました